

くらしに役立つお金と生活の知恵を学ぶ

くらし塾 さんゆう塾

vol.29

2014夏号

- 巻頭インタビュー
心揺さぶるモノを集めて46年
「集める」が「働く」エネルギー
おもちゃコレクター 北原照久
- 連載エッセイ 心の経済学入門
心の経済学 行動経済学へのいざない
経済学者 眞壁昭夫
- そこが知りたい! くらしの金融知識
投資をするなら押さえておきたい
基本ルール「前編」
- 金融教育の現場レポート
高校生の『ひとり立ち』を促す
実践的な金融教育



知るぽると

金融広報中央委員会

「集める」が「働く」エネルギー
心揺さぶるモノを集めて46年

巻頭

インタビュー

北原照久さん

おもちゃコレクター

くらし塾
さんゆう塾

vol. 29

- 巻頭インタビュー 2
- 家計管理・生活設計のツボ 6
〈第1回〉新社会人の家計管理
- まんが わたしはダマサレナイ!! 8
デジタルコンテンツ利用料の
架空請求詐欺
- 連載エッセイ 11
—心の経済学入門—
〈第1回〉心の経済学
—行動経済学へのいざない
- そこが知りたい! くらしの金融知識 14
投資をするなら押さえておきたい
基本ルール[前編]
- なるほど知るぽると 18
新パンフレット
「大人のための お金と生活の
知恵」のご紹介〈前編〉
- 金融教育の輪 20
一般社団法人 全国銀行協会
- 特別寄稿 21
公益財団法人 日本環境協会
- 金融教育の現場レポート 22
高校生の『ひとり立ち』を促す
実践的な金融教育
- 金融広報アドバイザーの誌上セミナー 26
大学生へのライフプラン講座
- 金融・経済 おもしろ豆知識 28
〈第1回〉落語「千両みかん」
- おたよりコーナー 29
- 都道府県金融広報委員会一覧 30
- まなびや訪問 31
渋谷区立鉢山中学校

●題字 矢田勝美
●表紙イラスト オオノ・マユミ

おもちゃコレクターとして世界的に知られ、小さなブリキのおもちゃから現代アート作品まで自らがときめくモノをコレクションしている、北原照久さん。モノを長く大切にすることにこだわり、好きなモノに囲まれて暮らす。そのライフスタイルから見える幸せの価値観や、お金の哲学、60代になっても「今が一番楽しい」というその人生の歩み方をつかいました。

異文化で触れた モノを長く使い続ける喜び

大量生産、大量消費の時代。モノは流行の波に乗って、次から次へと新しく生まれ変わり、私たち日本人も、とかく新しいものに飛びつきがちです。なのになぜ、世界が認めるコレクター・北原照久さんの目は、「消費しては捨てられるモノ」たちに向けられてきたのでしょうか。

人気テレビ番組で、レトロな品々の鑑定士としての北原さんを知り、興味を持った人も多いことでしょう。インタビューでも、その親しみのある語り口とコレクションへの熱い想いは、周囲をもワクワクとさせるオーラに満ちていました。

今、66歳の北原さんは、まさに団塊の世代。大学に入学したものの時代は学生運動の真ただ中で、授業もない。仕方なく「スキーマの勉強に」とオーストリアのインスブルックに留学したことが、北原さんの価値観に大きな影響を与えました。

「ホームステイ先で、おばあちゃんの代から使っ

ている銅鍋、をととても大切にしていってね。なんでも美味しくなる『魔法の鍋』だって。日本が大量生産・大量消費へと突き進んだ高度経済成長のさなか、むこうではモノを長く使い続けることが自慢だったんですよ。モノと人との濃密な関係や、当時の日本の使い捨て文化とはまったく異なる暮らしに触れて、僕も好きなモノ、こだわったモノに囲まれて生活したいな、と思うようになったんです」。

20歳で帰国後、北原さんのコレクション第1号となったのが、粗大ゴミとして捨てられていた八角形の古い柱時計でした。家に持ち帰って修理すると、まだ動く。自分で古いモノに命を吹き込んだことに感動を覚え、そこから今日につながるコレクションが始まりました。

「近所にいわゆる『生活骨董』を扱う『古典屋』という骨董品店があつてね、時計や真空管ラジオ、レコードなんかをご主人が丁寧の説明してくれるの。古い時代のモノを手にして、作り手や持っていた人たちの人となりや暮らしを想像するのは面白かった。とくに日本製品はおもちゃ一つとってみても、本当に精密で出来が素晴らしい。それから骨董の魅力に惹かれてもう46年間、ひたすら集めつぱなしなわけですよ」。

ブリキのおもちゃで知られる北原さんですが、実は最初のコレクションは生活骨董からスタートし、さらに、レコード、雑誌、漫画本、映画や広告のポスター、自動車のカタログなどに広がりました。コレクションには、時代ごとに消費され、誰もが過去に目にしたり手にしたりしたことがある懐かしいもの

も少なくありません。

「僕のコレクションからは、『時代が見える』。戦前からの20世紀の庶民の生活を知ることができる価値あるコレクションです。本や雑誌も、表紙を見れば日本の近代画家の系譜ができる。江戸川乱歩作品の表紙だけでも展覧会ができるほどです」。

コレクション公開は 与えられた使命

自身を「熱しやすく、冷めにくい」と評する北原さんですが、ブリキのおもちゃの魅力に目覚めたのは25歳の時。ブリキやソフトビニール、超合金のおもちゃなど、当時は大量に出回ったものでも、現代になって価値が高騰しているものが数多くあります。

「当時おもちゃ屋で数百円で買ったモノが、今じゃ世界のオークション雑誌で『5万ドルから』なんていう値がついて、売られていたりするんですよ。分かっていれば、あの時代に買っておけばよかったと皆さん思いますよね」と北原さんは笑います。

しかし北原さんのコレクションは、そもそも「将来高値で売れそう」という考えで選んだものではありません。また、コレクター同士で、物々交換したことはあっても、売ったことはないそうです。北原さんのコレクションはすべて自分自身が見て、手にとつて、ワクワクして、「自分の琴線に触れたモノを欲しいから手に入れただけ」。ただ、本当に好きで集めた「宝物」なのです。

収入は全部コレクションに費やしていたため貯金はほぼゼロ。しかし約30年前、北原さんは37歳で、「集



インタビュー

北原照久

め続けたコレクションを展示する博物館を作りたい」と、1,500万円の借金をして横浜・山手に『ブリキのおもちゃ博物館』をオープンします。その後も、全国各地や海外でもコレクションを公開。「20世紀の日本の生活習慣やものづくりの文化を伝え、次の世代に残していく」ということが、神様から与えられたミッションだと感じているからだそうです。

収集するものは古い品々だけでも限りません。

北原コレクションの中には、21世紀の現代作家の作品も数多く含まれています。気に入った作家は無名のところから積極的に購入してコレクションに加え、世間に発表しているほか、まだ完成品が見られない作り始めから、制作費を払い、作品を創作してもらうこともあるそうです。これも、商売ではなく、ただただ、自身のコレクションのために、これまでも現代アートの山下信一さんや武藤政彦

さん、荒木博志さんなど新鋭現代作家の才能発掘にも、北原さんは情熱を注いできました。

北原さんを形作ったもの 人生の転機は高校時代に

「うちの実家は東京の京橋でスポーツ用品店に喫茶店を併設した商売をやっていました。両親は、店が繁盛すれば嬉しそう、売れないと元気がない。スキー用具中心でしたから、冬が一番の稼ぎ時。特に12月が商売のピークですよ。クリスマスは景気が良く、親は忙しいけど嬉しそうだった。その姿を見ると、子どももやっぱり嬉しいわけですよ」と北原さんは振り返ります。

その幼少時代の思い出から、「ブリキのおもちゃ博物館」には、一年中クリスマスのお店「クリスマストイズ」という別館が併設されています。やはりクリスマスに通常のニーズはなく、決して収益を上げている店とは言えません。しかし、北原さんの「楽しく、好きなことを仕事にする」という思いを象徴するのが、まさにそのクリスマスの店なのでしょう。

成長期には、不良のレッテルを貼られ、義務教育であるはずの中学校で、登校拒否から退学に至ったという苦い少年時代を経験した北原さんでしたが、高校時代に優等生へと変身します。

「中学を退学になっても、母親は『お前はタバコを吸わないところがいい。人生やり直しはできないけど、出直しはいつだってできる』と良いところを見つけ、励ましてくれました。なんとか進学した高校では、今度は恩師が60点のテストを『北原、やればで

きるじゃないか!』と褒めてくれた。人は褒められたり、認められたりすると頑張れるんですよ。2人の言葉で生まれ変わった私は、高校卒業時には総代を務めるまでになり、青山学院大学にも合格しました。

高校時代、そんな「言葉の持つ力」を確信した北原さんは、それからの人生で辛いことがあってもとにかくプラス思考の言葉を口にするように努めています。「身近な例だと、出張続きでくたくたになっている時には、『子どもの頃あんなに乗りたかった飛行機にたくさん乗れるようになって幸せじゃないか』とつぶやくのです」。多くの著書や自身のフェイスブックを通じて、「力になる言葉」を発信することをライフワークにしている北原さん。決してネガティブな発想・発言はしない姿勢から元氣をもらい、ポジティブになれる読者も多いことでしょう。

自分のため、そして将来の世代のために、一生懸命働く

北原さんはコレクションを生業として、まさに「好きなことを仕事に」を実現してきた人です。とはいえ、コレクションを売買して生計を立てているわけではありません。

博物館経営、オリジナルグッズ販売、テレビ・ラジオ出演のほか、年間150本もの講演会をこなし、これまで71冊の著書を執筆するなど、非常に多忙に「稼ぐ」努力をしています。

「好きなモノたちに囲まれた生活をしているおかげで、お金のある無しに関わらず心は豊かですよ。お金は使うために貯めるもの。コレクションを買う手

段としてお金が必要なので、一生懸命働いてお金を稼がなければなりません。僕をお金持ちだと言う人がいるけど、66歳にもなつて、これだけ働いている人間はいないって自信を持って言えますよ」。

そんな北原さんは、お金についての考え方として、渋沢栄一の著書「論語と算盤」や、二宮尊徳の言葉「道徳なき経済は罪であり、経済なき道徳は寝言である」を挙げています。理想や道徳を置き去りにしてお金を稼ぐことを目的としてしまつては意味がない一方で、どんなに理想を掲げても、そろばん勘定が合わないければ成立しない。つまりは、バランス感覚が大事なのだと言います。

「海外の有名コレクターも実業のビジネスをしつかりと経営した上で、コレクションに惜しみなくお金を使いますからね。一生懸命働いて、好きなことをするための『言い訳をしなくてもいい環境』を作っているんですよ。好きなことだけやって他人に迷惑をかける『ガキっぽい』ことはしたくないけど、欲しいものを手に入れようと、ドキドキワクワクする『少年っぽい』生き方は好きなんです」。

また、北原さんは、コレクター仲間である世界的企業の経営者や、ポール・マッカートニー、ミック・ジャガー、デミ・ムーアなど著名人との幅広い交流も知られています。

「コレクションが増えるに伴って、いろいろな人たちとの交流が生まれて、自分の世界も広がっていくんですよ。」



●北原 照久 (きたはら・てるひさ)

1948年、東京生まれ。青山学院大学在学中にスキー留学したオーストリアで、「モノを長く大切にす文化」に触れ、収集家の道へ。25歳の時、プリキのおもちゃに魅せられ、現在では世界的なコレクターとして知られている。86年に横浜・山手に「プリキのおもちゃ博物館」を開館。テレビ東京「開運!なんでも鑑定団」に鑑定士としてレギュラー出演しているほか、コレクターとしてテレビ、ラジオの番組や講演会、トークショーで活躍。「珠玉の日本語・辞世の句」(PHP研究所)など著書は71冊にもものぼる。株式会社トイズ代表取締役、株式会社トイズプランニング代表取締役、横浜プリキのおもちゃ博物館館長。

子どもが自慢のおもちゃを見せ合って、遊んでいるみたいな感覚ですかね。普通に考えたら会えそうにない人が、僕にコレクターとして会いたいと言ってくれてるなんて、本当に夢みたいだね」と無邪気に笑います。

現在、北原さんのコレクションは、横浜の「プリキのおもちゃ博物館」をはじめ全国6カ所で常設展示されていますが、先日、新しい倉庫にコレクションを引越させたところ、なんと4トントラックに109台分もあつたそうです。

「いつかコレクション全部を展示できる博物館をつくりたいんです。もし、建ててくれるという人がいたら、私は喜んで全コレクションを寄贈したいと思っていますよ」。




増え続けるコレクションを次の世代にどんな形で残していくか…にこやかに語る中にも、文化を伝えていくという北原さんの強い使命感が感じられました。

家計管理・生活設計のツボ

第1回

新社会人の 家計管理

学生生活を終えて社会人になる、結婚して家庭を持つ、あるいは、リタイアして第二の人生を歩む…。人生に訪れるさまざまなイベントは、家計管理や生活設計を見直すチャンスでもあります。このコーナーでは、それぞれのライフステージで知っておきたいお金にまつわる情報やノウハウをお伝えしていきます。今回は、春から新社会人となった皆さんと、「給与明細の見方」や「貯蓄のコツ」について考えます。

-  **ツボ1** 「給与明細」には、総支給額以外にもさまざまな情報が記載されている
-  **ツボ2** 上手に「貯蓄」するためには、はっきりした「目標」を持つことが大切
-  **ツボ3** 「自動積立」を利用すると、無理なく確実に貯蓄できる

給与明細が 教えてくれること

総支給額と手取り額が 違うのはなぜ？

この春から新社会人となった方々も、すでに何度目かの給料が支給されたことと思います。給料日は、誰しもウキウキとした気分になるものですが、「給与明細」には目を通さず、銀行口座の残高を確認するだけで終わらせている人も少なくないのではないのでしょうか。

「給与明細」には、月々の支給総額だけでなく、手当や控除の額、出勤の状況など、さまざまな情報が記載されています。総支給額より実際の手取り額が少ない理由も、給与明細をチェックするとよく分かります。いつもよく確認せずにはまいこんだり、捨ててしまう人は、この機会に給与明細の見方を知っておきましょう。

知っておきたい3つの重要項目

会社によって給与明細の書式は違いますが、通常記載されているのが、①勤怠、②支給、③控除の3項目です。さらに、「その他」項目として年末調整などの一時的な情報が記載される場合もあります。

① 勤怠

出勤、欠勤、遅刻早退や残業時間などの状況が記載されている項目です。これらの情報から給与が計算されるので、数字が合っているか確認しておきましょう。有給休暇の残り日数が記載されている場合もあります。

② 支給

大きく「基本給」と「各種手当」に分かれています。

「基本給」は、年齢、勤続年数、能力、職務内容など従業員の属性や仕事の内容に応じて定額で支払われるもので、退職金を計算する際の基準とする会社も多くみられます。「各種手当」には、超過勤務に対する時間外手当、役職手当、資格手当、通勤手当、家族手当などがありません。

③ 控除

支給額から天引きされる項目で、その大半は「税金」と「社会保険」です。所得税は所得額に応じて国に納める税金です。毎月の給与から差し引かれる金額は概算のため、12月に1年間の所得額や所得控除額が決定した後、年末調整で精算されます。

住民税は前年の所得によって金額が決まるので、前年の所得がない新社会人の場合は天引きされません（二年目から天引きされます）。社会保険には、厚生年金保険、雇用保険、健康保険（公務員は共済）などがあり、決して少ない金額が天引きされていますが、それぞれいざというときにあなたの生活をサポートしてくれます。たとえば厚生年金保険は、老後の生活を支援すると同時に、ケガや病気で障害が生じたときにも役立ちます。きちんと内容を把握しておきましょう。

ほかにも、給与から天引きで貯蓄できる財形貯蓄や、社員旅行の積立金や労働組合費など、会社独自の天引き項目があります。

「給与明細」にはさまざまな情報が載っていることが分かったと思います。手取り額を確認するだけでなく、天引きされたお金が何に使われているのか、社会保険がどのような仕組みになっているのかなどを知ることが、お金と賢くつき合う第一歩。次のお給料日には、ぜひ、給与明細の中身をじっくりと確認してみましょう。

■給与明細を読む

基本給 基本となる支給額でボーナスもこの金額を基準に計算されることが多い。		各種手当 扶養家族ができた場合の「扶養手当」、家賃補助などの「住宅手当」など会社によってさまざまな手当がある。		減額金 欠勤、遅刻、早退は減額される場合もある。		実際に得る金額	
社員No.	山田 太郎 様	部門名	〇〇〇	氏 名	〇〇〇	差引支給額	162,144
支給額	基本給	役職手当	調整手当	家族手当	時間外手当	通勤手当	減 額 金
	160,600		15,000	0	6,235	9,500	0
控除額	健康保険	厚生年金	雇用保険料	介護保険料	所 得 税	住 民 税	共済会費
	7,790	14,582	1,339	0	3,200	0	780
							旅行積立金
							1,500
							控除総額合計
							29,191

社会保険料
給与水準に応じて定められていて給与から差し引かれる。介護保険は40歳から差し引かれる。

給与から差し引かれる税金
所得税はその月の支給額に応じた金額、住民税は前年の収入に応じた金額である。

社内預金や財形貯蓄
共済会や労働組合の費用

新社会人の「貯蓄の7ツツ」

「二人前」になることは、お金の管理もできるようになること

仕事を持つことによって「一人前の大人」へと歩み始めた新社会人。一人前になるということは、経済的にも自立するということ。仕事を覚えるだけでなく、「きちんとお金を管理して、自分の収入

の範囲内で生活しながら、夢の実現のための準備をする」のも、非常に重要なことです。

独身のうちは、「稼いだお金はすべて自分の自由になるお金」という気持ちで先に立って、無駄遣いをしたり、毎月お給料を使い果たしてしまうという人もいそうですが、結婚したり、子どもを育てたり、家を建てたりと、これからの長い人生に起こるイベントもすべて自分のお金でまかなっていかねばなりません。ぜひ早いうちに、お金との上手なつき合い方や賢い貯蓄法を身につけておきましょう。

大切なのは「目的」を持つこと

さて貯蓄しなければ、と頭で分かっていても、お給料を使いすぎて「今月は貯蓄に回せないな」となったり、ちよつと貯まるとつい使ってしまったり、「なかなか貯められない」という人も多いのではないのでしょうか。

「なぜ、貯蓄をするのか？」その目的がはっきりしていないと、このような状況になりがちのようです。

貯蓄の目的はどのようなもので

も構いません。20代のうちに結婚したいから、30歳までに独立開業したいからといったライフイベントに備える目的はもちろん、2年に1度は海外旅行をしたいといったレジャーの計画でもよいのです。はつきりとした目的を持つことによって、無駄遣いへの誘惑が断ち切られ、貯蓄へのモチベーションが上がるはず。

最初の目標は小さくても構いません。目標額を達成して目的がかなえば、次なる目標に向けての貯蓄も頑張れるようになるでしょう。

無理なく貯められる自動積立

もう一つ、上手な貯蓄のコツとしてあげられるのは、最初に貯蓄額を差し引いて、残ったお金で生活するように習慣づけることです。会社に「財形貯蓄制度」がある場合には、その利用を考えてみましょう。

「財形貯蓄制度」とは、会社と提携している金融機関に、給与やボーナスからの天引きでお金を積み立てていく制度です。

一般に、社会人の貯蓄の目安は手取り額の1〜2割といわれています。仮に手取りの1割を毎月貯

金していれば、10カ月で月収分の貯蓄ができる計算になります。30歳くらいになると、結婚資金や住宅購入の頭金など、さまざまな用途に使えるくらいの貯えができるはず。

おすすめの自動積立商品はほかにもありますので、左記の表を参考に見てください。

■自動積立商品の例

商品等	特徴
財形貯蓄	給与やボーナスからの天引きで積み立てる。1年以上積立て、50万円以上の残高があれば、住宅購入時に財形住宅融資を受けられる。財形住宅、財形年金は一定条件を満たせば、利息は非課税となる。
自動積立定期預金	普通預金から自動的に・定期的に指定した金額を定期預金にシフトして積立てる。
投資信託自動積立	普通預金から自動的に・定期的に指定した金額を引き落とし、指定した投資信託を購入する。

わたしは 第25話 デジタルコンテンツ利用料の 架空請求詐欺

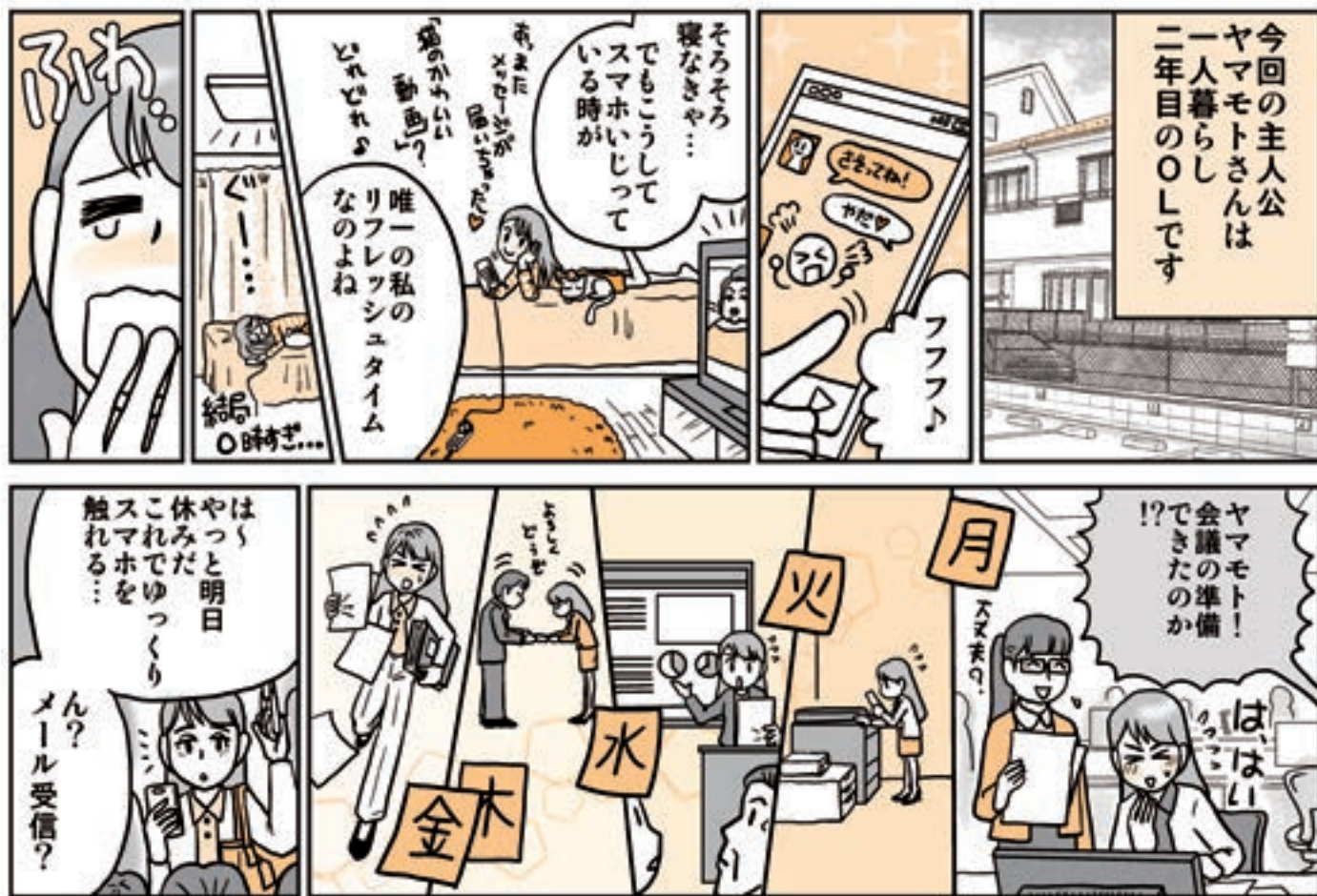
●監修

樋山 昌子

(ひやま・まさこ)

東京都消費生活総合センター／
消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。
なぜだまされてしまうのか？ ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。
「私だけは大丈夫！」なんて甘く考えてはいませんか？ 実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



登録した覚えのない
インターネットのサイトから
費用を請求される詐欺

最近特に身近になったスマートフォン（スマホ）や、携帯電話、パソコンに、請求する根拠がないにも関わらず脅迫的なメールを送りつけ、消費者を不安に陥れる詐欺が後を絶ちません。

ポイント1

突然、脅迫的なメールが届く

多くの人がスマホや、携帯電話、パソコンを使ってインターネットやメールを楽しんでいます。そこへ突然、思いもよらないメールが届きます。

「登録をしているサイトの無料期間が終了し、未納状態になっています。再三の督促にも関わらず、放置状態です。当方が債権回収を委託されました。このままだと多額の延滞料が発生します。身辺調査をし、弁護士に委任し、法的措置に移行します」などという内容です。受け取った人は心当たりがないものの、その内容から、もしかしたら間違えて登録してしまったのかもしれないなどと不安になってしまいます。

しかしこうしたメールの多くは、自動生成プログラムで無差別に大量に作成したメールアドレスに、一方的に送りつけられたものと考えられます。たまたまメールアドレスが合致した人にメールが届いてしまうのです。

ポイント2

知識不足につけ込んだ詐欺

こうしたメールに対して不安にかられて



支払ってしまったのは、相手の思いつきです。

そもそも契約にあたっては、売り手と買い手の合意が必要です。また、ネット上の取引で起きやすい操作ミスや勘違いを防止するために、事業者は「電子消費者契約法」に基づき、契約内容についての確認画面を用意しなければなりません。消費者が確認画面で契約内容に同意した上で、事業者がそれを承諾した旨のメールが消費者に届かなければ、契約の無効を主張できるのです。通常はこのようない取りのあと登録になるわけですから、「身に覚えがない」のに登録してしまうことにはなりません。

また、このようなデジタルコンテンツ利用料の債権回収ができるのは、法律上、弁護士のみです。債権管理回収業に関する特別措置法(サービサー法)で、法務大臣の許可を受けているサービサーも債権の管理・回収を行えますが、サービサーが債権を回収できるのは金融機関の貸付金などであり、サイトの利用料の回収はできないことも覚えておきましょう。

ポイント3

悪質業者に連絡すると個人情報を知られてしまう

脅迫的な内容の執拗なメールの相手に心当たりがないことを伝えようと連絡を入れると、「登録されている」と強く主張され、「法的措置に移行するとより高額な請求になる」などと脅かされます。これも全く根拠のない主張ですが、不安になった被害者は言われるままに支払ってしまうことがしばしばです。

しかも、連絡をしたが故に悪質業者に電話



この物語はフィクションです

【詳しい情報や相談】

●国民生活センター

http://www.kokusen.go.jp/soudan_topics/data/kakuseikyuu.html

●東京くらしMEB

<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/torihiki/taisaku/>

番号などの個人情報を知られてしまい、電話による督促がエスカレートすることになります。メールが送りつけられてくる段階では、あなたの個人情報業者が特定されているわけではありません。またメールアドレスから個人情報調べられることもできません。決して連絡を取らないことが肝心です。

ポイント4

一度払い込んでしまうと、さらに別の請求が始まってしまいます

いったん支払いに応じてしまうと、悪質業者からは「力毛」だと思われてしまいます。支払った後もなお「他のサイトの未納分も見つかった」「振込を確認できない」などと次々と架空請求が止まらなくなる事態にも陥りかねません。

そもそも単なる「言いがかり」なので、最初からすべて無視してしまうのが一番良いのです。「脅せば金がとれる」と思わせてはいけません。

★こつした架空請求があった場合には、無視をすることが一番です。連絡を取るようなことは大変危険です。このようなメールで困りの場合は、すぐに地元の消費生活センターに相談してください。



人は時として合理的でない行動をとります。
そうした生身の人間を前提とした経済学が行動経済学です。
経済学者の真壁昭夫先生が皆さんを行動経済学の世界にご案内します。

心の経済学

行動経済学へのいざない

最近、経済の専門家や一般の人々から注目を集めている経済学の分野の一つに、行動経済学があります。この理論は人間の「心」の動きに着目して組み立てられているため、行動経済学Ⅱ「心の経済学」と考えると分かりやすいと思います。行動経済学に関する業績は、すでにノーベル経済学賞を2回受賞しています。

伝統的な経済学では、人間は常に機械のように合理的に行動することが前提になっています。しかし、実際の私たちの行動を振り返ると、バーゲンセールに行つて値下げ品以外のものも買ってしまうなど、時折「おかしいことをしてしまった」と後悔することがあると思います。つまり、生身の人間は常に合理的に行動するとは限らないということです。

ときには合理的ではない「心」を持った生身の人間を前提にして経済活動を考え直そう、というのが行動経済学なのです。その行動経済学の内容を、できるだけ分かりやすく解説したいと思います。行動経済学の考え方は、きっと私たちの日常生活にも役立つことがあると思います。

1 心の経済学とは

私たちが日常の生活の中でお金を使ったり、預金したりするときなど、自分たちの「心（心理）」に影響されて決める（＝意思決定を行う）ことが多いと思います。このときの意思決定は常に合理的とは限りません。例えば、飛行機が墜落したというニュース

真壁 昭夫（まかべ あきお）

経済学者。信州大学経済学部教授。1953年生まれ。76年一橋大学商学部卒と同時に第一勧業銀行に入行、83年ロンドン大学経営学部大学院（修士）卒業、85年メリル・リンチ社ニューヨーク本社出向。DKB INT'L出向・トレーディング部長。市場営業部および資金証券部の各市場営業グループ次長を経て98年第一勧銀総合研究所金融市場調査部長。その後、内閣府経済動向分析チームメンバー、第一勧銀総研やみずほ総研の主席研究員を経て2003年から信州大学大学院イノベーション・マネジメント・センター特任教授兼任、05年から同大学経済学部教授。著書は「日本がギリシャになる日」（ビジネス社）、「行動経済学入門」（ダイヤモンド社）、「実践 行動ファイナンス入門」（アスキー新書）、「下流にならない生き方」（講談社）など多数。

を見ると、どうしても飛行機に乗って出張に行くことがいやになることもあるでしょう。例えば事故原因が自分の乗る飛行機に関係ないことが明らかな場合であっても、どうしても気分的に飛行機に乗りたくなくなるのが人間の心理です。

行動経済学はそうした人間の「心」の動きをとらえて、どのような経済活動が起きるかを考えます。そうした考え方は、「人間は常に合理的な判断を下す」（安全性が変わらなければ便利な飛行機に乗る）と想定した伝統的な経済学の発想と対照的です。行動経済学が登場した背景を噛み砕いて整理すると、以下ようになります。

① 私たちの行動は「心」に左右される

私たちは、各人の思考や習慣、文化等に影響されながら消費や生産などを行います。そのため、私たちの経済活動には各人の主観や好み、プライドといった「心理的な要因」が大きな影響を与える可能性があります。

② 「心」の影響で合理的でない行動をとることがある

「心」の影響で、私たちは時としておかしな判断をすることがあります。前にあげた飛行機事故の例などは、そうしたケースの一つといえるでしょう。そうした「気分的に何かをしてしまう」、あるいは「正しいと分かっているけど、それをする気になれない」などということはよくあると思います。

③ 「心」に着目した経済の理論が必要

私たちの日々の行動が「心」に影響され、それが時として合理的な意思決定ではないとすれば、伝統的な経済学とは別に、「心」に着目した経済学の理論でないと、実際の経済を理解することができません。そのため実際の経済を、より実態に近づけて分析することを目的として行動経済学が考え出されました。

2 伝統的な経済学との違い

ここまでで、行動経済学について大づかみなイメージを持っていただけではないかと思えます。そこで、行動経済学をもう少し深く理解するために、今までの伝統的な経済学との対比を考えてみましょう。両者の主な特徴をまとめると、下の表のようになります。

伝統的な経済学は、基本的に「機械のように常に合理的な人間」を前提としているため、「こうあるべきだ」あるいは「こうならなければならない」という厳格な理屈になっています。また、消費者の好みといった「心」の要素にとらわれず、経済活動に関する分析をすることはそれなりに有効な考え方だと思えます。「一定の条件の下で経済がこうなるだろう」という推測を行いやすくなります。

ただ、伝統的な経済学では一定の前提を設け

てしまうため、それに適合しない出来事などは「例外的事象」「アノマリー (anomaly)」として十分な説明がなされてきませんでした。アノマリーとは、ごくごく例外的に起きる出来事で、理屈で説明することが難しい事象のことを意味します。伝統的な経済学が説明をしなかった出来事の中に、いわゆる「バブル」があります。

バブルとは、人々の心理が高揚して、「買うから

	行動経済学	伝統的な経済学
前提・対象とする人間像	生身の人間（時として、市場は効率的ではなく、意思決定も合理的とは限らない）	市場は効率的であり、意思決定も合理的
経済活動に対する考え方	常に合理的とは限らない（時としておかしな決定も下す）	企業や家計は経済合理性に従って意思決定を行う
金融市場に対する考え方	バブルの発生を想定する	バブルなどの例外的事象（アノマリー）は想定しない
理論構築の特徴	行動理論（実際の私たちの行動を基に理論を構築）	規範理論（理論的にあるべき姿を前提に理論を構築）
対象とする期間	相対的に短期間	相対的に長期間

上がる。上がるから買う」という現象が起きて、株価や不動産などの価格がとんでもない水準まで上昇してしまうことです。わが国でも1980年代後半、株式と不動産の価格が3、4年の短期間で驚くような水準まで上がってしまいました。その記憶はまだ鮮明に残っていると思います。そのバブルは、私たちの生活にとっても大きな影響を与えました。株式などの価格が上がっている間は景気が改善しますから、物が売れて、私たちのお給料も上がります。その時はとても快適なのですが、バブルが破裂した後は、不良債権の処理や企業のリストラ圧力が高まることになります。実際、1990年代後半から、わが国の経済が長期低迷を続けたことで、私たちの生活は厳しい状況に置かれました。

バブルのような出来事に関しても経済学で明確な説明ができると、そうした事態にならないような対策を打つことが可能になるはずですが、行動経済学はより実際に近い状況を前提にしているため、伝統的な経済学の理論では説明できなかった事象についても、それなりの説明をつけることができるようになっていきます。それも行動経済学の重要なメリットの一つと言えるでしょう。

3 フレーミング効果 「思い込み」の力

次に、行動経済学をより深く理解するために、代表的な理論であるフレーミング効果を紹介します。

フレーミングとは、簡単に言うとな種の「固定観念」あるいは「思い込み」と考えると分かりやすいと思います。ここで、人間の言葉に対する感じ方について、例をあげて説明します。例えば、「水筒に、まだ二分、水が残っている」という場合と「もう一口分しか、水が残っていない」という場合とでは、印象はどう変わるでしょうか。二つの言葉の情報の内容は同じですが、後者の伝え方であれば聞き手の心理は悲観的なものになってしまうかもしれません。

フレーミング効果の「フレーム」とは「枠組み」のことです。主観などの影響で認識の枠組みが固定されてしまうと、なかなかそれを修正することは容易ではありません。

実際の例として、バーゲンセールに殺到するケースを考えてみましょう。バーゲンセールのフレーミング効果としては「バーゲンセール」普段は高いものが安く手に入る」という「思い込み」（心理の枠組み）が考えられます。そのため「バーゲンセールに行かないことは損することと同じ」といった「思い込み」が形成され、大勢が殺到すると考えられます。

これを百貨店の側から考えましょう。バーゲンセールは安売りというフレーミング効果を活用するためには、消費者に得をしたと思わせる仕掛けが重要です。このため、百貨店は「赤字覚悟」など、安売りを強調する文言を並べます。また、通常は定価でしか販売しない高級ブランド品などをセールの

目玉に設け、より多くの集客を達成し、全体の売り上げを伸ばそうとするのです。

4 行動経済学は世の中を 知るためにも役に立つ

フレーミング効果という代表的な行動経済学の理論を理解するだけでも、日ごろの意思決定の背景にある「心」の動きの意味がよく理解できると思います。現在、わが国では、デフレ経済からの脱却が強力に推し進められています。デフレ経済を考える際にも「心」の動きを考慮することはとても意味のあることだと思います。つい最近まで、「バブル崩壊後、経済は低迷し、何をやっても給料は増えない」という、一種のフレーミング効果が社会の中で重要な影響を与えていたと考えられます。そうした人々の心理が、経済活動を低下させる要因になっていたかもしれない。

ということは、経済を回復させるためには、何よりも人々の心理状況を改善することが必要ということになります。足元のわが国の経済活動を見ると、労働市場や所得環境が改善していることもあり、人々の心理状況は少しずつ改善しているように見えます。重要なポイントは、人々の「思い込み」などの「心」の影響をいかに改善に方向付けることができるかということになります。こうした視点を理解するうえでも、行動経済学について知っておくことは役に立つのです。

投資をするなら押さえておきたい 基本ルール「前編」

デフレ脱却への動きやNISA(少額投資非課税制度)のスタートなど、今ほど資産運用に対し、広く国民の興味や関心が高まっている時代はないかもしれません。しかし、具体的に投資を考えようとしている人からは、「よく分からない」「危ない橋を渡ることになるのでは?」「勉強の仕方が分からない」などの悩みが多く聞かれます。今まで投資について勉強するチャンスがなかった人には当然の疑問です。

そこで今回の特集は2回に分けて、「投資をするなら必ず押さえておきたい基礎知識」をまとめてみたいと思います。改めて考えると普段の生活でも必要なことばかりですが、これらをしっかりと押さえれば、投資を行うあなたの基礎力はまったく違ってくるはずです。では一緒に勉強してみましょう。

【執筆者】

ファイナンシャルプランナー、
消費生活アドバイザー

山崎 俊輔 (やまさき しゅんすけ)

フィナンシャル・ウィズダム代表。企業年金研究所、FP総研を経て独立。商工会議所年金教育センター主任研究員、企業年金連合会調査役(確定拠出年金担当)など歴任。インターネット、雑誌、講演等を通じ、若年層のライフプラン・投資教育に取り組んでいる。1972年生まれ。

基本ルール1 投資をするなら 自己責任が大原則

まず最初に、心に刻んでほしい大原則があります。それは「投資の結果は自己責任」ということです。銀行預金より高い利回りを期待して、元本割れのリスクも併せ持つ金融商品を買うとき、運用の結果がマイナスになったとしても、その責任を誰かに肩代わりしてもらうことはできません。

投資におけるもっとも基本的な

ルールは、「自分で選んだ投資の結果は、自分のものとして受け入れなければいけない」ということです。

つまり、投資商品の価額が大きく上昇したら、その分はそのまま自分の資産増となって返ってきます。同様に、うまくいかないときの結果も、自分が負うことになるということです。これは投資の世界に限ったことではありませんが、投資をするに当たっても、自己責任は大原則なのです。

自己責任は、これから投資を考

えていくに当たって何度も思い出して欲しい原則です。例えば「分からないものを買ってはいけない」という原則も、運用結果が自己責任だからだと考えれば理由がすぐ分かります。「よく分からないけど、儲かりそうだなあ」という軽い気持ちで購入した商品が値下がりしたとき、その結果は自分で負うしかないからです。

投資に悩んだときは「特にうまくいかなかったときに」その結果を自分は受け入れることができるか」と考えてみてください。

基本ルール2 投資にかかる コストを理解しよう

投資をするには、費用がかかります。どのようなとき、どのような費用がかかるかを確認することはとても重要です。

今まで、銀行の預金をしていた人は「費用は負担していないよ」と思っていたかもしれませんが、実際には銀行が預金を預かって管理するためには、銀行員の給与や支店の賃料、ATMの設置費用な

図1: 現物株と投資信託にかかるコスト

	購入するとき	保有期間	売却するとき
現物株	売買手数料	原則かからない	売買手数料・税
投資信託	購入手数料	信託報酬 (運用手数料)	信託財産留保額・ 税

運用を委託するとコストがかかる 適切なコストか確認する 高いコスト=高利回りは保証されないので注意

どの経費がかかっています。預金に費用がかかっていないのではなく、これらをひくくるめた上で預金の金利が提示されているだけのことです。

投資の場合は、あらかじめ「どのようなとき」「どのような費用」が生じるか提示されるのが原則なので、この費用が手数料というかたちで見えるわけです。

具体的には「購入したとき」「売却したとき」にそれぞれ手数料が生じます。手数料がかからない場合はその旨が商品説明に記載されていますので確認してください。

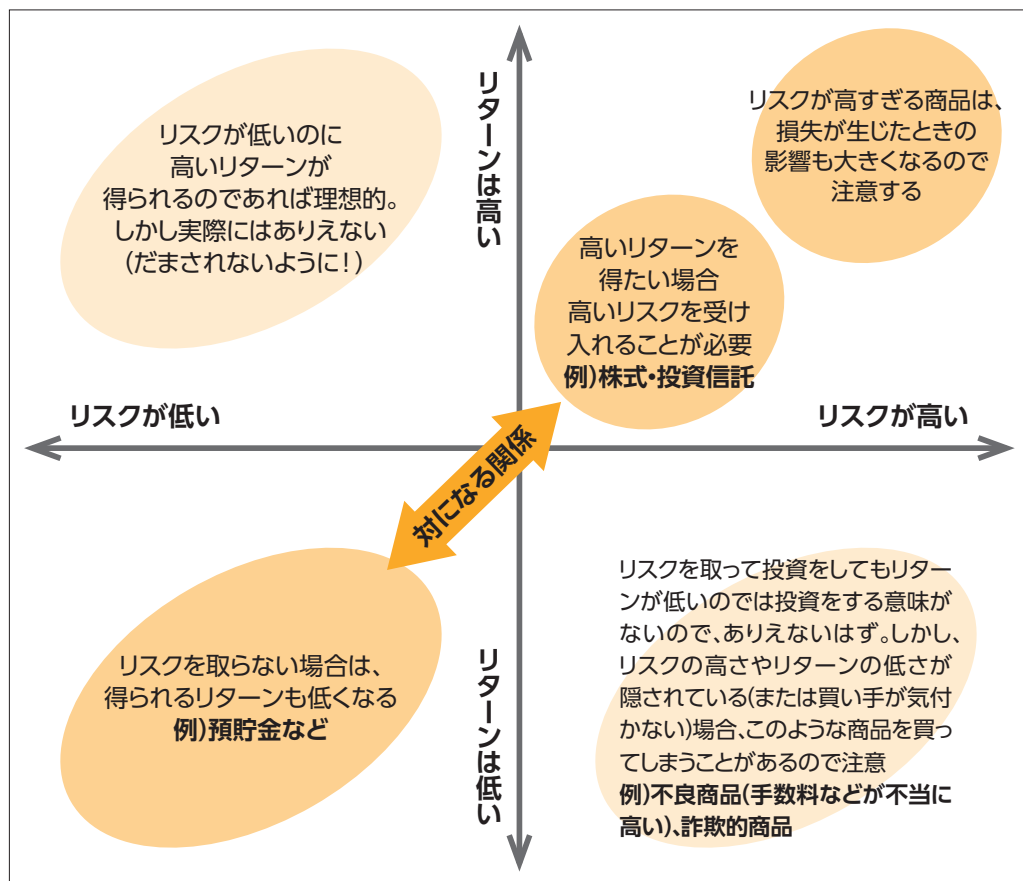
また「運用している期間中」にかかる手数料もあります。投資信託などは運用会社が運用（売買）したり管理（レポート作成ほか）したりする費用や報酬などを「信託報酬」として「年率X%」のように提示して徴収します。個別の株式などは保有期間中に手数料を引かれることはありません（図1参照）。

手数料がかかることはおかしいことではありません。私たちが車検をディーラーに頼んだり、タイヤの交換を頼めば、サービス料がかかるのと同じです。しかし、同じサービスであればできるだけリーズナブルなところに車検を頼むのと同じで、投資にかかる費用についても吟味する姿勢が必要です。

投資の世界では、高いコストを払うことは、高い運用成績が約束されることを意味しません。「高い手数料を払えば、確実に高い利回り

りが得られるだろう」と安易に考えて割高の手数を払わないよう注意してください。また、コスト分は運用利益もしくは元本から引かれることも忘れずに（投資信託の場合）。

図2: リスクとリターン



投資においてはリスクとリターンの関係を知ることが大切です（図2）

基本ルール3
リスクとリターンの関係を理解しよう

参照)。ここでいう「リスク」とは単に「危ない」という意味ではなく、不確実性ということです。投資においては、価格が変動する可能性、変動幅の大きさを意味するのです。「リターン」とはお金を運用した結果得られるもののことであり、利益が得られることもあれば損失が出ることもあります。

一般的に、リスクが高い商品は、リターンも高いという関係があります。ただし、あくまで一般的な関係性なので、リスクが高い商品なのに、実際の結果としてリターンが低かったということはよくありますから、「高いリスク＝高いリターン」というような誤解をしてはいけません。

次に、リスクが高いのに、期待されるリターンが低い商品ですが、このような商品は誰も欲しがらないので、本来はありえないはずですが、「リスクの高さ」や「リターンの低さ」が隠されている（あるいは買い手が気付かない）場合、このような商品を買ってしまうことがありますので、注意しましょう。

リスクが低く、リターンが高い商品はありません。もし、このような商品があれば、みんなが欲しい

と思いますから値上がりし、利回りが下がってしまう（リターンが低くなる）のが道理です。高い利回りが安全確実だという場合、本当はそう装っているだけなのです。

過去、金融トラブルになった商品のほとんどは「安全確実」と「高利回り」がセットであることをうたい文句にしていました。私たちとしては、安全かつ高利回りであればありがたいところですが、うまい話には必ず裏がある、という意識を持つてください。

誰でもリスクは低くリターンが高い商品を希望します。しかし、「高いリターンが欲しいなら高いリスクを受け入れること」が原則だということを覚えておきましょう。

これも投資に限ったことではありません。人生においても、不確実なことにチャレンジしてはじめて大きな成果が得られるといったことと、同じなのです。

基本ルール4 投資する対象は何かを理解しよう

次の原則は「投資する対象を知る」ということです。投資する、

といつても具体的にどのような対象で運用が行われるか確認し、その特性を理解の上お金を投じなければなりません。投資対象により期待できるリターンの大きさもリスクの大きさもまったく異なりま

産を投資対象に組み入れる動きもあります（コモディティ投資）。為替そのもののみにお金を投じる運用もあります。

投資対象（アセットクラスともいう）は、一般的に「債券」「株式」に大きく分けられます。外国の（外貨建の）投資対象は「為替」が在し、値動きが異なるため、「国内債券」「国内株式」「外国債券」「外国株式」の4つに大きく分けられます。公的年金や数十～数百億円の運用を行う企業年金ではこれら4つの投資対象への資産配分割合を主に検討しています（図3参照）。

異なる投資対象を視野に入れるのは、それぞれの値動きの大きさと、その方向性が異なるからです。例えば、国内株式が低迷している時期に、新興国の株式が大きく値上がりするようなことが起きたり、株式が大きく値上がりしたとき、債券の価格が下がる、といったことが起きます。

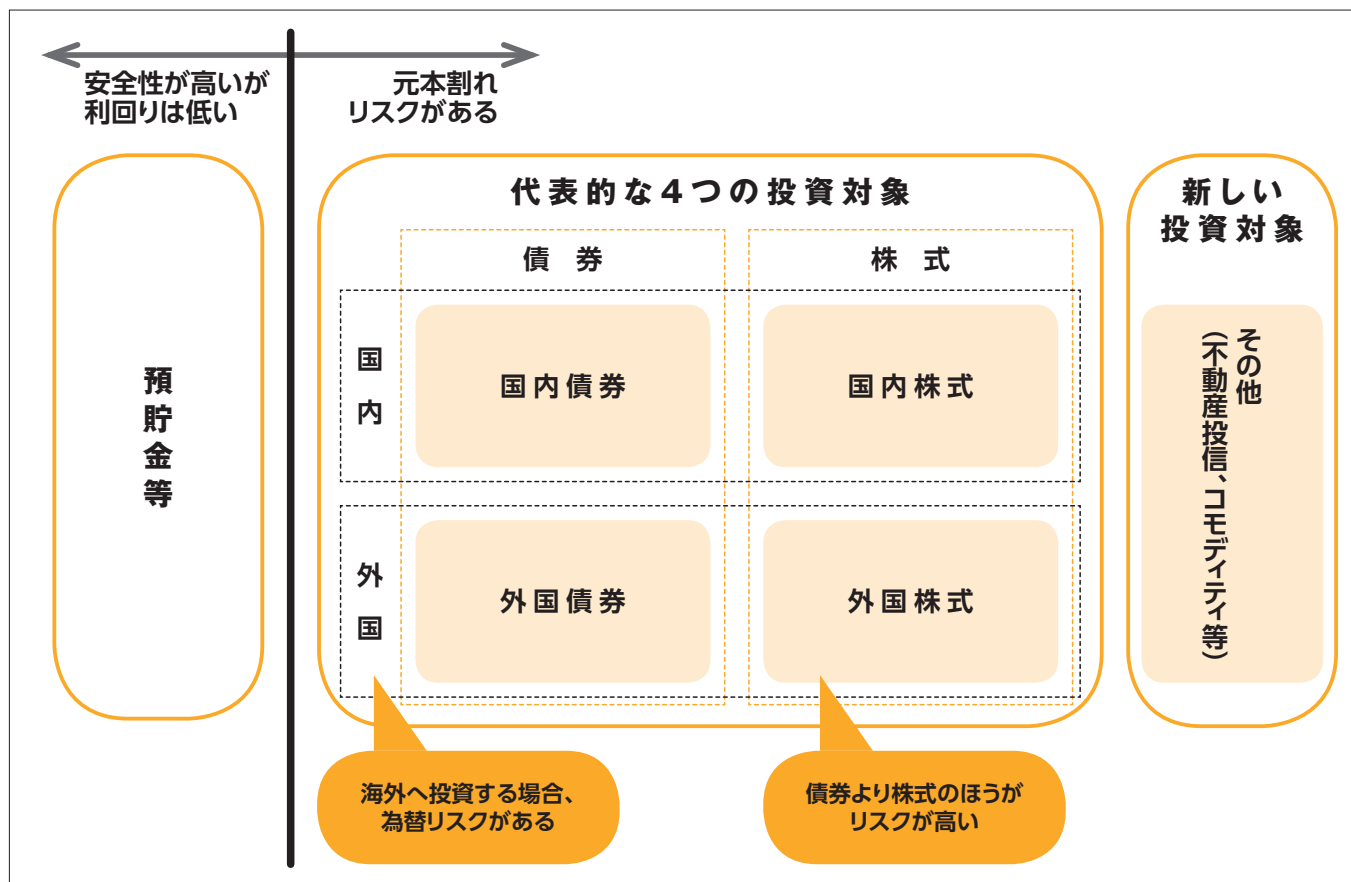
同時に異なる投資対象で運用することで、資産全体の価格の振れを減らし、大きな損失を被る可能性を低めることができます（分散投資）。投資をする際には、上記の4つのアセットクラスを理解することから始めてはいいでしょうか。

基本ルール5 分らないものは買っていない

最近では、不動産投信（REIT、リートともいう）を少額から買えるようになり国内外の不動産も投資対象に加わるようになりました。外国の株式について先進国と新興国を分ける考え方もあります。また、穀物や鉱物資源などの現物資

今回紹介する投資の基本ルール、5つ目は「分らないことはちゃんと理解してから買う（理解できないときは買わない）」です。何か興

図3: 代表的な4つの投資対象



味がある金融商品があって、購入の意思を伝えるときには、金融機関から販売時の説明資料等による説明を受け、その金融商品の仕組みやリスク、コストなどについて確認し、納得の上で購入する仕組みになっています。

このとき、実はよく分からないことを知ったかぶりしてあいまいに頷いてしまう人がいますが、知らないことは恥ずかしいことではありません。むしろ、知らないことを確認する非常に重要な機会が販売時説明なのです。

例えばあなたの学生時代の同級生が他業種に就職したとすれば、彼の仕事の専門知識をあなたが知らないのは当然です。同級生もあなたの仕事の専門知識は知らないことばかりでしょう。あなたが金融機関に勤めているのであれば、金融商品について分からないことがあるのは当然のことです。質問や説明を求めることに尻込みする必要はありません。

分からないことがあれば納得のいくまで説明を求めるべきです。金融商品を販売する業者は、あなたの知識や経験、財産の状況、投

資する目的に照らしてふさわしい説明をしなければならず、あなたに理解してもらった上で金融商品を購入してもらうべき立場にあります（もしも大事なことを説明しなかったり、ウソをついて販売した場合は、損害賠償などの責めを負うことになります）。

最初のルールでも説明したとおり、一度決断して購入した以上、投資の結果は自己責任になります。ぜひ、販売時説明の際にはいろいろな質問をして、理解と納得の上で購入してください。もし、分からないことが残るのであれば、購入を見送り、「分からないものは買わない」（分かってから買う）スタンスで臨みましょう。買わなければお金が増えるチャンスも得られないかもしれませんが、よく分からないままに買って、損失を被るようなことは避けなければなりません。

今回は、「投資をするなら押さえておきたい基本ルール」の後編として、投資理論の基本をご紹介します。理論といっても難しい数学を考えなくても分かる説明を行いますのでご安心を。お楽しみに。

新パンフレット 「大人のための お金と生活の知恵」の ご紹介〈前編〉

金融広報中央委員会では、「大人のための お金と生活の知恵」という新しいパンフレットを作成しました。
大人の方に身につけていただきたいお金や生活の知恵を紹介しています。ぜひお読みください。

■新パンフレット表紙



お金と生活の知恵

お金のことで、悩みはないでしょうか？

日々の「生活」と「お金」とは、切っても切れない関係にあります。お金のことで心配したり悩んだりするのは当然のことです。

では、これほど大切な「お金と生活」のことにについて、これまできちんと学ぶ機会があったでしょうか？

今は、学校でも、子どもたちの「生きる力」を育むため、お金と生活の基本を学ぶようになってい

ます。私も金融広報中央委員会も、そのお手伝いをしています。

しかし、すでに学校を卒業された方にとっては、お金と生活についてきちんと学ぶ機会はありませんか？

そこで、当委員会では、「大人のための お金と生活の知恵」というパンフレットを作成し、希望される方に無償で配布することといたしました。

このパンフレットは、大人の方に身につけていただきたいお金や生活の知恵を紹介したものです。金融リテラシー（お金の知識・判

断力）に関する私どもの調査や、金融庁「金融経済教育研究会」、当委員会「金融経済教育推進会議」の検討結果を踏まえた内容です。主に中高年の方を対象としています。若い方にも役立ちます。

パンフレットの内容を紹介させていただきます（今回は前編です）。

お金の問題と「向き合う」

出発点は、「今後の人生を描いてみる」ことです。

まず、「今後の人生をどのようにしたいか」、そして「いま、お金はどれくらいあるか。今後の見通しはどうか」を考えてみましょう。

この2つを考えあわせると、「課題」が見えてきます。例えば、お金が足りなくなる可能性が高い場合、今後の生活や支出について見直す必要があります。

お金の問題と向き合うお手伝いとして、当委員会のホームページ（「知るぽると」<http://www.shiruponto.jp/>）の「生活設計診断」を利用することをお勧めしています。空欄に数字（手取り収入、生活費、貯金額など）を入れれば、将来のお金の見通しを表や

グラフで見ることができ、老後の生活診断などが簡単にできます。参考となる老後の生活費なども掲載しています。

「大きなお金」の見直しなど

生活やお金の見直しが必要な場合、「大きなお金」の見直しが有効です。

一般に、人生の3大費用は、**教育・住宅・老後**とされます。このうち、どうしてもかかるのが**老後**で、**住宅と教育は、考え方次第**といわれます。老後資金が不足しそうな場合、住宅や教育について考え直してみることは重要な選択肢です。

例えば、「住宅」では、家族構成の変化などを踏まえ「大きな一戸建てを売り、手頃な広さの賃貸住宅に引越す」とか、「地価・家賃の高い地域から安い地域に引越す」ことで、生活費を見直すことができます。「思い込み」を排し、冷静に将来を考えてみましょう。

「日常生活のお金の見直し」も紹介しています。お金を貯めるためには「**天引き貯金**」が有効です。これは、日常生活で使用する預金

口座とは別の口座（積立口座、財形貯蓄口座など）に、毎月の手取収入から一定額を自動的に貯金していく方法です。

日常生活で使用する口座でも、「引き出す回数を月に2回と決め、半月分の生活費だけを引き出す」方法、引き出したお金を目的別

大人のための
お金と生活の知恵

【コラム】「生活設計診断」も、ご利用ください。
・金融広報中央委員会「知るぽると」のホームページには、「生活設計診断」のコーナーがあります。
・空欄に、数字を入れてみるだけで、あなたの暮らしの現状や老後を診断します。
—— 入れる数字は、手取り収入、退職金額、生活費、年金受取額、学費額、収入税額などです。
・参考となるデータも出ています（老後の生活費など）。ぜひご利用ください。

【知るぽると】で検索
知るぽると
知るぽると 画面

【知るぽると】ホームページ（トップページ）へ

【暮らしのお役立ちツール】「生活設計診断」があります

こちらです

3. 見えてくる課題

● 課題を発見（p23）したら、書き出してみましょう（「見える化」）。計画や行動に結びつけやすくなります。例えば以下のような課題が考えられます。

【課題の例】

- お金が足りなくなる可能性が高い。
- 今後の生活や支出について見直す必要がある。
- お金を増やしたい。運用のノウハウを知りたい。
- だまされないようにしたい。
- 次世代に貢献したい。

● 本書では、このような課題について、考え、行動するときに、ヒントとなるような知識をご紹介します。

● 例えば、お金が足りなくなる可能性が高い場合、今後の生活や支出について見直す必要があります。その手法などについてご紹介します（p5～7）。

● お金を運用して増やそうとする前に、お金の管理や運用について身につけておくべき知識があります。その内容をご紹介します（p8～21）。

また、お金に関する取引でだまされないためのポイントをご紹介します（p2～21）。

● 次世代への貢献などをお考えの方に、参考となる材料をお伝えします（p21～23）。

【コラム】「収入を増やす」こと

- ・「お金が足りなくなる可能性が高い」場合の対策として、「収入を増やす」ことが考えられます。
- ・高齢の方でも、健康や体力を維持し、なるべく長く働いて収入を得ることができれば、収支の改善に非常に大きな効果があります。
- ・ただし、定年後の配分や健康・体力の問題は、退職金や個人差の問題も大きいので、本書では省略します。

宛先:金融広報中央委員会 刊行物担当

●メールアドレス
books@saveinfo.or.jp

●FAX 番号
03-3510-1373

件名: 刊行物請求

記載事項: ①申込者氏名、②郵便番号、③送付先住所、④電話番号、⑤本パンフレットの名称（「大人のための お金と生活の知恵」）、希望部数、⑥利用目的・利用日、⑦その他連絡事項

次回（後編）は、お金の管理や運用などについてご紹介します。

本パンフレットは、前記の知るぽるとホームページでご覧いただくことができます。冊子をお読みになりたい場合には、左記の宛先にメールまたはファックスにてご連絡ください。

本パンフレットを
お読みいただくには

認すること、貯金に目的を設けると、「金利がかかる」支出・「固定的な」支出・「習慣になった」支出を見直すことなどを紹介しています。

ほかに、預金通帳の残高を確認すること、貯金に目的を設けると、「金利がかかる」支出・「固定的な」支出・「習慣になった」支出を見直すことなどを紹介しています。

金融広報中央委員会では、「金融経済教育推進会議」などを通じて関係団体と連携して活動しています。



一般社団法人
全国銀行協会

一般社団法人 全国銀行協会

楽しく学べる体験教材で 「金融経済教育」の授業をサポート

一般社団法人全国銀行協会（以下「全銀協」）では、金融経済知識の普及・啓発活動のために、①教材の無料配布、②講師派遣、③金融経済教育研究指定校制度などの活動を行っています。

教材については、全銀協の金融経済教育サイト「ぎんこう寺子屋」で、お金や経済を学ぶために、学校などの授業で活用いただける教材をダウンロードすることができます。社会科（公民）や家庭科、総合的な学習の時間などの学習カリキュラムと連携した内容で、詳しい指導者用解説書もついています。また、ご請求いただければ、学校の方には無料でお送りしています。

中学生向けには、「大好きなアーティストから考えるあなたと銀行のかかわり」や「知ろう！学ぼう！お金の使い方」、高校生向けには、「ライフステージで学ぶ銀行」や「ローン&クレジットのABC」、中高生向けには、「生活設計・マネープランゲーム」といった教材があります。

この中の「生活設計・マネープランゲーム」

では、就職や結婚、家の購入など人生における選択や思いもよらないアクシデントなどをカードを引きながら疑似体験し、それに伴う収入・支出額、そして「思い出ポイント」をシートに記入しながら進めていきます。最後に、シートの集計結果を見ながら自分や他の参加者の人生を振り返り、人生には様々な選択があること、計画性を持つて生活していく必要があること、などを体感し気付くことができます。ゲームを活用した学校では、「お金の使い方や給料の仕組み、保険など将来必要になることを学べて良かった」、「自分が将来どんな暮らしがしたいのか分かった」など、金融経済教育が将来を考えるきっかけとなったという生徒の感想が多く、また、先生からは、自分で参加した経験から実感を持つて学べる教材であると、ご好評をいただきました。授業の模様や各学校で作成した指導案も、「ぎんこう寺子屋」(<http://www.zenginkyo.or.jp/education/>)で公開していますので、是非ご活用ください。



官民のパートナーシップで支える 子どもたちの環境活動「こどもエコクラブ」

公益財団法人 日本環境協会

約40年前、日本では大気汚染や水質汚濁、騒音などの公害問題が続き、世界では熱帯林の伐採、酸性雨、砂漠化などの問題が深刻化していました。国民の皆さんの「環境についてもっと知りたい」「環境のために何かしたい」という思いに応えるため、1977年に日本環境協会が設立されました。協会では、環境問題や環境保全についての理解を深め、積極的に環境保全活動に参加する人や企業が増えるよう、人材育成、環境教育、環境にやさしい商品の普及に取り組んでいます。

その活動の一つとして、「こどもエコクラブ」があります。同クラブは、地域の環境保全活動の環をを広げることを目的とした子どもたちの環境活動・学習の組織で、これまで約200万人の子どもたちが活動を行ってきました。2011年度に環境省から協会が引き継いだ事業ですが、地域の活動支援を地方自治体をお願いするとともに、企業等から協賛をいただき、官民パートナーシップ型の事業として実施しています。協力事例としては、残高に応じてこどもエコクラブに寄付いただく預金商品を作ってくださった銀行もあります。

「こどもエコクラブ」のメインイベントは毎年3月に開催する全国フェスティバルです。1年間の活動をまとめた各クラブの壁新聞や絵日記を環境教育や野外活動の識者が審査して、フェスティバルに参加する都道府県の代表クラブや環境大臣賞などの特別賞受賞クラブを選定します。当日は、代表クラブの子どもたちが活動を発表して交流を深めるほか、企業や団体が出展するブースで最新の環境技術などについて学ぶことができます。中には、再生可能エネルギー事業への融資などを例に、環境保全と金融という難しいテーマをわかりやすくご紹介いただいた銀行がありました。ブースで熱心に子どもたちに語りかける企業・団体の方を見ていると、次世代が安心して暮らすことのできる社会のために真剣に取り組む企業や団体が増えていることを実感します。

これからも、未来をつくる子どもたちのために、皆さんと協力して子どもたちの環境活動を盛り立てていきたいと考えています。

こどもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>



子どもたちの生き生きとした日頃の活動の様子と
全国フェスティバルに集まったこどもエコクラブメンバー

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。

このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。今回は、高校生をはじめ若い世代の方々が、

自立して暮らしていくために必要な経済生活上の基礎知識を身につけられるように作成された教材

『これであなたもひとり立ち』自立のためのWORKBOOK』同指導書『発行・金融広報中央委員会』について、その執筆に携わった元新潟県立長岡向陵高等学校教諭・池山純子氏が実践した、

自立を支援するための金融教育と、ワークブック指導書の誕生ストーリーをご紹介します。

家庭科の男女必修を きっかけに消費者教育を 取り入れる

池山さんは大学を卒業後38年間にわたり、新潟県立高校の家庭科教諭として勤め、定年後の現在も2校の県立高校で非常勤講師として教壇に立っています。その長い教師生活の中で、特に平成6年より、家庭科が男女必修修になったことは、池山さんが「消費者教育を高等学校の家庭科へ」と取り組む大きなきっかけとなりました。

「それまでは家庭科は女子のみが必修修し、男子は体育をしていました。当時、普通科、家政科、保育科、被服科のある高校に勤務。12人の家庭科教員がいました。私は「家庭経営」と

いう家政科の専門科目を持つことになり、研修を受ける必要がありました。

税金や社会保険料の計算、理論生計費の算出や生活設計といった生活経済や消費経済の研修が男女必修修に向けての準備に大いに役立ち、先生方と力強く連帯し、男子にも耐

えうる自主編成の家庭科カリキュラムを作りあげていくことができました。すばらしい思い出です」。

池山さんは新潟から東京の消費者教育支援センターや国民生活センターに積極的に足を運び、プロが学ぶための研修等を熱心に受講しながら、授業に消費者教育を取り入れていきました。



新潟県

元新潟県立長岡向陵高等学校教諭
池山 純子氏

資料1: これであなたもひとり立ち～自立のためのWORKBOOK～

プロローグ	
ワーク1	自立のための意思決定 アイデンティティ確立のために
ワーク2	私の命を育んだお金はいくら? ゆりかごから18年
ワーク3	受験のための経済学 いくらかかるの進学費用
ワーク4	社会人になるための経済学 求人票から読み取ることは?
ワーク5	ひとり暮らしの生活費 収支の合った楽しい生活
ワーク6	ひとり暮らしの部屋探し 初めての大きな契約
ワーク7	ひとり暮らしの快適空間 新生活用品はいくら?
ワーク8	カード社会の歩き方 こまめにチェック預金口座
ワーク9	金利と法律に強くなる カード社会の落とし穴
ワーク10	おいしい話にご用心 きっぱりはっきり断ろう
ワーク11	悪質商法とたたかう 手段はまだある
ワーク12	リスクと資金管理 どんなときでも大丈夫?!
ワーク13	起業家をめざすなら 夢をかなえる足がかり
ワーク14	ネット社会を生きる
ワーク15	健康管理をしっかりと かしこい食費の使い方 食事選択演習シート

生徒たちが自発的に
学び出す教材を

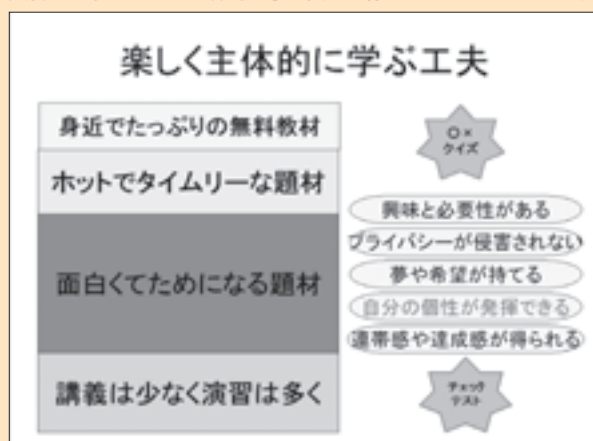
生まれたネットワークの広がり、金融広報中央委員会における『これであなたもひとり立ち』の執筆に主力メンバーとして参加することに繋がったといえます。

『これであなたもひとり立ち』の執筆には、池山さんのような家庭科教諭と、社会科教諭、商業科教諭、さらにアド

バイザーとして大学教授や弁護士も参加しています。本書はプロローグと15のワーク（資料1）で構成され、編集会議ではそれぞれの専門領域から意見交換を行い、長い時間をかけて平成15年に初版が完成しました。特に項目が多い家庭科分野では、担当執筆者が池山さんの自宅に合宿をしながら取り組んだ時期もあったといえます。

ワークブックは「やってみようと思わ

資料2: 生徒が楽しく主体的に学ぶ授業を作り出すための工夫と配慮



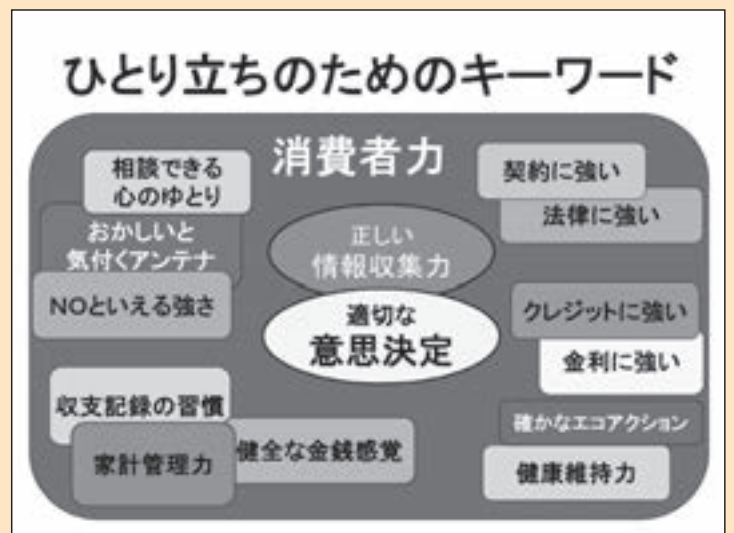
せる」ことに重点を置き、キャッチフレーズと副題で演習のポイントを短くまとめ、イラストと短いキーワードで簡単に理解できる解説と、楽しんで取り組めるワークを多数取り入れています。

例えば、ワーク7の「ひとり暮らしの快適空間」は、ひとり暮らしへの憧れや期待を現実的にイメージして新生活の費用について考える学習です。自分の住みたい住居を選び、契約し、生徒たちが、ひとり暮らしで本当に必要なものや自分なりの暮らし方を考えながら仮想居住し、ワークしながら平面図や鳥瞰図を作成していく段取りです。ほかにもワーク8の「カード社会

資料3: 理解を深化させ、実践力、発進力が身につく、啓発ポスターと環境学習カルタ(生徒作品)



資料4: ワーク学習で身につけたい消費者力(ひとり立ちのためのキーワード)



の歩き方」では、絵本のようにイラストでクレジットカードの使い方や仕組みを解説し、クイズに答えて知識の定着を図る工夫をしています。

「授業は、講義は少なく演習は多くをモットーに、教材には生徒が居眠りや内職せずに、楽しく主体的に学べる工夫をしています(資料2)。生徒たちはワークを手にとるとすぐに、何も言われなくてもチェックテストやQ&Aを始めたり、興味を持って取り組んでいましたね」と池山さんは話します。

『ひとり立ち』を「生き抜き」の教育に

『これであなたもひとり立ち』の制作にあたっては、授業での生徒の反応や理解度を参考に何度も修正を加えていきました。池山さんが実際の授業で開発した教材やアイデアも随所に活用されています。イラストのイメージも生徒が原案を作成したり、ワーク15の食事選択演習シートやワーク5の消費支出の実態など、管理栄養士になった

卒業生や教え子たちが助言をし、教材開発に協力してくれたこともユニークな特徴です。指導書にポスターやタペストリーなど、生徒の作品を発展学習の実践事例として掲載しているのも特徴的です。

「生徒たちには、年度の終わりに『家庭科の授業で学んだ中で一番訴えたいこと』を課題にして、他者の知的財産権にも配慮した自由な発想で啓発ポスターを作ってもらっていました(資料3)。その一部を指導書に掲載し



ていますが、啓発するにはどういう対象に何を訴えたいか、その正確なことが分かっていなければ、キャッチコピーもイラストも書けません。独創的な作品の数々から、生徒たちがどのくらい熱心に取り組んだかが分かるのが嬉しいですね」と池山さんは話します。

ワーク2からワーク6で学ぶ家庭経済については、保護者からも「知って良かった」と感謝の言葉があったほど。大学進学後、ずっとひ

とり暮らしの家計簿をつけていたこと、便利な携帯家計簿に変えて、データ分析がしやすくなったことなどを教えてくれ、生徒のためにと自分の生データを提供してくれた卒業生もいたといいます。

「私は進学校が長く、家庭科は受験に関係のないわゆる『息抜き』教科かもしれないけれども、同時に『生き抜き』教科でもあると考えてきました。生活実感の持てない生徒たちに『生まれてから大学卒業ま

でにかかる費用は2500万円』と話してもなかなか理解は深まりませんが、自分で計算してみれば、生活するにはどれだけのお金がかかり、そのお金を稼ぐにはどれくらい大変かが分かります。親のありがたさを改めて思うのか、家族との対話が自然と引き出せます。生徒にとって『進路という現実のとても身近なところに家庭科がある』ことを実感してもらえたことは大きかったと思いますね」。

大人になるための「意思決定力」を培う金融教育

最近では、家庭総合（4単位）から、家庭基礎（2単位）が増えていて残念ですが、『これであなたもひとり立ち』はワーク毎に利用が可能なため、家庭基礎でも目的に応じてうまく活用して頂いています。また、大学や県の単立ち教室、消費生活講座の出前授業などでも積極的に使われています。

「毎年のように時代に合わせて改訂が加えられてはいますが、さらに地域やその実態に合ったアレンジを加えたり、一部だけを使ったり、さまざまな

活用法があると思います」と池山さんはいいます。

ワークブックに取り組むことで得られる『ひとり立ちキーワード』（資料4）は多数ありますが、池山さんが最も大切にしているのは、大人になるための「意思決定力」を育むことだそうです。

「家庭生活は食べることも暮らすことも意思決定の連続ですが、今の高校生には自分の進路さえ決められない子もたくさんいます。ひとり暮らしをすれば、『今日何をどう食べるのか』も自分で決めなければなりません。悪質商法も、対症療法だけ教えても応用できなければ意味がありません。つまり、自分自身で考え、判断し、意思決定する場面をいっぱい作ってあげることが、ひとり立ちの訓練になるはず。そういう意味で、ワークブックを意思決定の練習をするツールとして活用してほしいですね」と池山さん。「『やってみせ、言ってみせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ』——と新潟が生んだ偉人・山本五十六はいいましたが、まさに私の教育観もそうやって生徒の『生きる力』を育んでいくことだと思っています」。

金融教育の現場レポート

高校生の『ひとり立ち』を促す実践的な金融教育

新潟県

元新潟県立長岡向陵高等学校教諭 池山 純子氏

大学生へのライフプラン講座

— 第1回 — 講師：高橋 昌子 石川県金融広報アドバイザー

このコーナーでは、全国で活躍している金融広報アドバイザーによる誌上公開セミナーを行います。第1回の講師は石川県の高橋昌子さんです。石川県金融広報委員会はこのほど、金沢大学人間社会学域経済学類ビジネス・ファイナンスゼミから依頼を受け、高橋さんは大学の講義の一環として、ライフプランをテーマに金融教育を行いました。大学での授業は、高橋さんにとって初めての体験でしたが、大きな手応えと今後のアドバイザー活動の可能性を感じたそうです。今回はその講座を誌上講座としてお届けします。



ライフプランを 考えることは自分自身の 人生を考えること

大学生の皆さんはまだ、「ライフプラン」といってもピンとこない人が多いかもしれません。ライフプランには、自分自身のより良い人生を築くために「生きがい」をつくるプラン、「健康」をつくるプラン、そしてそれらを支える「経済(マネープラン)」の3つの領域があります。ライフプラン(マネープラン)の基本となるのは、「自分が何歳でどんなライフイベントが予定され、そのために必要な資金はいくらか」ということです。これには「ライフイベント表」といった表を作ってみると、分かりやすいでしょう。結婚、子どもの誕生や学校への入学、住宅取得、そして老後介護、相続などさまざまなイベントがあり、それぞれに費用がかかります。それに伴うリスクマネジメント(保障・補償)や金融資産運用設計も必要になってきます。ライフプランやリスクマネジメントを考える前提として、日本の年金や健康保険制度の知識が欠かせません。公的年金は何歳からい

くらもらえるかご存知ですか？
そもそも、大学生であっても20歳から社会保険への加入義務があることを知っていますか？

大学生のうちに学んでほしいのは、まず「生活に関連するお金」の知識は、知らないでソンをすること、知ってトクをすることがたくさんある」ということです。

マネープランは、実際に社会人となって経済活動を始めてみないと計画しにくい部分もありますが、お金のことを知ることは、社会を知ることであり、自分自身の人生を考えることに繋がります。今回は、自分自身の経済領域にかかわる最も重要な「職業選択」について理解を深めていきましょう。

グループ討論で 職業選択を考える

さて、家計を管理するには収入と支出を把握する必要があります。では皆さんが社会人になったら、どれだけの給料がもらえるのか。雇用形態の収入イメージ(資料1)や、職種別にみた給与例(資料2)などを見つつ、自分自身の職業選択について考えてみましょう。

高橋 昌子 (たかはし まさこ)

外資系生命保険会社を経て、平成7年に独立系FP会社を設立。フィナンシャルプランナーとして、北陸におけるAFP養成、投資教育等に取り組む傍ら、平成9年より金融広報アドバイザーとして活躍。日本FP協会会員(CFP)、1級FP技能士、住宅ローンアドバイザー、日本証券アナリスト協会検定会員補、1級DCプランナー、年金アドバイザー。金沢勤労者福祉サービスセンター評議員、財務省金融行政アドバイザーなどを務める金融の専門家。

用意した職業選択のためのシート(資料3)をもとに、あなたはどんな職業・仕事に向いているのか、自己分析しながら、グループで話し合ってみてください。そしてその話し合いをもとに、「グループの中で、誰が一番早く結婚すると思うか」「グループの中で、誰が一番稼げる職業につくと思うか」「グループの中で、誰が一番幸せな人生を送ると思うか」を理由とともに発表してください。

◇グループで、ワイワイガヤガヤとお互いのことを話し合うことによって、大学生の皆さんは、自分自身のこととして具体的に考えることができたようです。

講義を終えた後で、受講者からは、「自分と同年代の人達が将来についてどう考えているかを知ること

【金融広報アドバイザーとは】金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

資料2: 職種別現金給与額(男女計)

職業	年齢(歳)	平均給与(千円)	平均賞与(千円)	推定年収(千円)
一級建築士	49.0	428.8	1,626.1	6,771.7
システムエンジニア	38.4	405.5	1,113.0	5,979.0
医師	41.0	833.2	720.1	10,718.5
ホームヘルパー	44.7	218.2	272.3	2,890.7
弁護士	39.7	730.7	3,124.8	11,893.2
高等学校教員	43.6	426.3	1,664.1	6,779.7
個人教師、塾・予備校講師	35.6	270.7	362.6	3,611.0
記者	38.7	554.6	1,800.3	8,455.5
自動車外交販売員	36.2	322.8	847.4	4,721.0
警備員	48.8	220.0	196.7	2,836.7
タクシー運転者	58.3	233.2	174.1	2,972.5
航空機客室乗務員	35.1	367.5	835.0	5,245.0

出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査(全国)」(平成25年)から抜粋
推定年収は、「平均給与×12ヶ月+平均賞与」として算出

資料3: 職業選択のためのシート

氏名

職業選択のためのシート

『あなたはどんな職業・仕事に向いている?』

	好きな科目	趣味特技	クラブ活動など	将来の夢
中学				
高校				
大学				
現在の自分を分析してみよう	自分の長所			
	自分の短所			
	興味関心があるもの			
	自分が思う自分に向いている職業・仕事			
	友人の意見友人が思う自分に向いている職業・仕事			

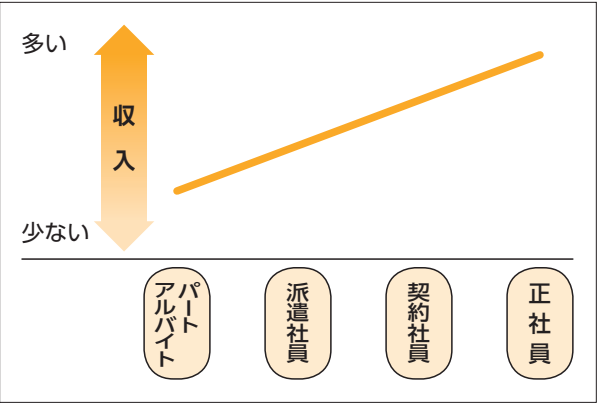
とができた」、「ライフプランは、より良い生活を送るためにはとても重要だということを改めて感じた」、「自己分析をすることができたので、就職活動に向けて参考になった」、「来年から社会人になるので、改めて自分のライフプランを真面目に考えたい」、「いろいろな経験を積んで、将来をしっかり見通せるようにしたい」、「職業選択による収入の違いだけでなく、自分の価値観を見つめ直すことができた」といった声が聞かれました。

今回の講座は、大学の先生からの「金融教育を少人数のゼミ方式で学ばせたい」という依頼をもとに、(1)学んだ知識を、ケースを通して考えてみる
(2)グループ討論を通して、自分とは異なる考え方を知る
(3)討論・発表を通してコミュニケーション能力を高める
という3つのねらいがありました。受講者は、マネープランの重要

職業選択Ⅱ人生の選択

性、働き方や職業による収入の差というシビアな現実を理解できたことでしよう。その一方で、「仕事に対する価値観は多様であり、お金のある人生だけが幸せではない」という大切なことに気付いてもらえたことも、この講座の大きな成果でした。ライフプランはいわば、『人生の選択の連続』です。その選択肢を広げながら、自分の考えで人生をどう選び決めていくのか、この講義を今後の人生に役立ててもらえたら幸いです。

資料1: 雇用形態の収入イメージ



金融・経済 おもしろ豆知識

古今東西、昔から伝えられているおとぎ話から現代の映画やマンガまで、お金や経済にまつわる物語は数え切れないほどたくさんあります。私たちにお金や経済にまつわる知識や教訓を分かりやすく伝えてくれる物語のうち、今回は落語を取り上げます。

第1回

落語「千両みかん」

みかんひとつが1億円!? 値段って何だろう?

最近では若い人にもファンが多い落語。落語家さんによってはチケットの入手が困難になることもあるそうです。

さて、そんな落語の古典に「千両みかん」という演目があります。

ある呉服屋の若旦那が、「どうしてもみかんを食べたい」という思いがつのり過ぎて、重病になります。大旦那から「みかんを探せ」と命じられた番頭ですが、時は真夏。みかんを売っている店などありません。ようやく見つけた青物問屋にひとつだけあったものの、値段は千両。日本一と自負するその問屋は、『真夏にどうしても食べたい』というお方のために、ほとんどが腐るのを覚悟で毎年みかんを大量に貯蔵している。だから千両なのだ」と言うのです。

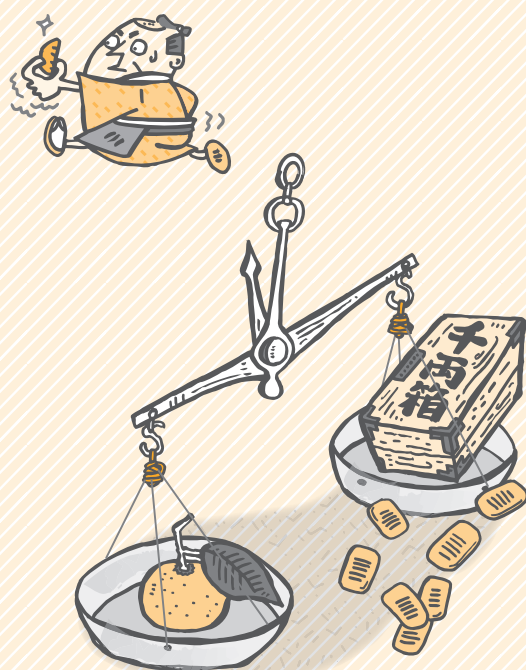
番頭は、いくらなんでも高すぎると帰りますが、大旦那は「それで息子の病気が治るなら安いもの」と、あっさり千両を渡します。若旦那はみかんを食べて元気になる、十粒あったみかんのうち三粒を番頭に渡して言いました。「両親に一粒ずつ、苦勞をかけたから番頭も一粒もらっておくれ」。ひとつ千両のみかんなら、三粒で三百両です。自分が一生働いても稼げない大金だ…と欲に目がくらんだ番頭は、みかん三粒を大事そうに抱えて、どこかに逃げていってしまいました。

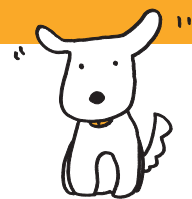
柿ひとつが6文の時代に、みかんひとつで千両（江戸時代中期で1両は4000文）です。約260年と長い江戸時代の中では、貨幣価値の変動もあるため一概には

いえませんが、千両＝1億円以上とも考えられ、番頭が思いあやまるのも分かる気がします。

冬なら誰もが買えるみかんが、保存技術がない当時は、夏に入手することは極めて困難。それでもどうしても食べたがる若旦那。暖簾の威信にかけてみかんを保存していた問屋。息子のために千両をボンと出す大旦那。そしてみかん三粒を「横領」して逃げ出す番頭。彼らの行動は、モノの価格、需要と供給、モノに対する人の思いや手間暇、から決まることを笑いの中に教えてくれます。

でも番頭さん、持ち逃げしたみかん三粒どうしたのでしょうか。普通の人にはみかんはみかんですから…。





読者のみなさまの声を紹介します。
ありがとうございます。

●「わたしはダマサレナイ!!」を読みました。自分は大丈夫だと今まで思っていました。実際の事例を読むと私もだまされるかも…と気持ちを変えました。一人で悩まず、相談が大事だな、と思いました。

(京都府・りんごさん)

●初めて手(目)にしました。自治センターで見かけたのですが、自治センターにはめったに行くこともないので、これまでまったく見たことがありませんでした。もっといろいろな所に置いて目に触れられるようにしたらと思います。

(愛知県・モネさん)

●日本の伝統芸能「文楽」は大変勉強になりました。あまり身近にない伝統芸能ですが、魅力を感じました。機会をみて実際に劇場に行つて体験したいと思います。

(北海道・さつげんさん)

●小学生の娘がいるので、お金の大切さや活用方法、値段のしくみなど分かりやすく説明されており、興味をもって読ませていただきました。子どもたちには、お金を大切にして育てほしいものです。

(兵庫県・M・Iさん)

●家計簿は継続することが重要です。そしてそれを活かすことです。家庭では女性に任せてしまっているお家が多い。私の家では、家計簿は共有し、お金の役割に、いくつかの条件を加除し、主人と議論ヒートアップ!

(大分県・高柳洋子さん)

●山本博先生の「競技も人生もひたむきな努力を続けるか否か、選択肢は二つに一つしかない」というメッセージに、私も人生は一生チャレンジだと共感いたしました。

(茨城県・たけちゃんさん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとにヨコに言葉を入れていくと、タテの太枠にキーワードが完成します。本誌に登場した印象的な言葉ですが、さて何でしょうか。

A.	ダ				
B.					コ
C.				ジ	
D.				マ	
E.		タ			

ヒント

- 大きな袋と打ち出のこづちを持った神様。
〇〇〇〇天
- 北海道の世界遺産。
〇〇〇〇半島
- 次の日のこと
- 彩の国といえは
〇〇〇〇県
- 金融商品選びの原則です。
ハイリスク・ハイ
〇〇〇〇

※答えは次号掲載

●前号の答え

カケイボ

新消費税が導入されて3カ月が過ぎました。収入の使い道は思う通りになっているでしょうか。あつという間に過ぎていく1年を、家計簿をつけるなどして計画的に過ごしましょう。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。2014年8月31日までにご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン* & メモ帳」をプレゼントいたします。

※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・年代・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局内
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
メール : info@saveinfo.or.jp
FAX : 03-3510-1373
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011 (241) 5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017 (734) 9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019 (624) 3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022 (211) 2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018 (824) 7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023 (630) 3237
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024 (521) 6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029 (224) 2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028 (623) 2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027 (226) 2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1 街区2F	048 (261) 0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043 (225) 7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03 (3277) 3788
神奈川県金融広報委員会	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	050 (7506) 1128
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055 (227) 2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026 (227) 1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025 (223) 8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076 (424) 4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076 (223) 9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776 (22) 4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟5階	058 (213) 9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054 (273) 4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052 (954) 6166
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059 (246) 9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077 (528) 3412
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075 (212) 5193
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06 (6206) 7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078 (334) 1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742 (27) 5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073 (426) 0298
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-220	0857 (26) 7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852 (32) 1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086 (227) 5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082 (227) 4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市滝町1-1	083 (933) 2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088 (621) 2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087 (825) 1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089 (933) 6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088 (822) 0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092 (725) 5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952 (25) 7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095 (820) 6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096 (383) 2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097 (533) 9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985 (23) 6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099 (286) 2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098 (866) 2187

くらし塾 vol.29
さんゆう塾

平成26年7月発行

●編集・発行
金融広報中央委員会
●編集協力
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

編集 後記

今号から、本誌は装いを新たにしました。表紙イラストは、夏らしく、爽やかな色合いで明るい気分になりますね。新しいコーナーもはじまりましたが、いかがでしたでしょうか。これからくらしに役立つお金の情報をお届けできるよう頑張っていけますので、今後とも「くらし塾 さんゆう塾」をよろしく願い致します。

* 本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。
* なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>



渋谷区立鉢山中学校

華やかな若者文化の街「渋谷」とファッショナブルな街「代官山」、これらの街から歩いてすぐの住宅街に渋谷区立鉢山中学校があります。

全校生徒104名（2014年4月）の規模ですが、渋谷区理数教育重点校、東京都理数フロンティア校、法科大学院生による法教育授業実践校、渋谷コミュニティ・スクールなどに幅広く指定され、地域に根ざしつつ、進んで学ぶ創造性豊かな生徒の育成を目指しています。

2013・2014年度は、東京都金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、「社会の一員として、心豊かに生活するために」をテーマに、2013年度は、1年生は職場訪問、2年生は職場体験、3年生は上級学校調べ、を総合的な学習の時間に行いました。

3年生の上級学校調べ（進学について考える）にスムーズに入ることが課題でしたが、2年生の職場体験を行う前に、自分が生まれてから学校を卒業するまでにお金がどれくらい必要か、職業、資格、学歴で収入がどう違うかなどを調べ、将来の生活について考える金融教育の授業を取り入れたところ、変化がみられました。

生徒は、育ててくれた家族への感謝の気持ちをより意識するようになりました。将来の夢やしっかりした生活を実現するためには、中学校からの勉強が大切だと考え、朝早く登校して学習する生徒も出てきました。そして、職場体験では、真面目に責任を持って働くことによって、信頼を築き収入を得られることを実感することができました。

今後は、法教育も兼ねた金銭トラブルの模擬裁判なども予定しています。



渋谷駅前の忠犬ハチ公像



鉢山中学校



さみどり祭（文化祭）

知るぽると 金融広報中央委員会 (事務局：日本銀行情報サービス局内)

金融広報中央委員会って？

おかねについての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。

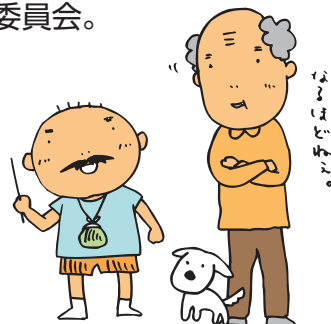
そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。

そんな思いで活動しているのが、「知るぽると」の金融広報中央委員会。

日本銀行の中に事務局のある、中立・公正な団体です。

「知るぽると」は金融広報中央委員会の愛称です。

くらしに役立つ身近な知恵・知識の「港：Porto」「入り口」です。



知るぽると ホームページ: <http://www.shiruporuto.jp/>